

1	森林基金事業のあらまし	17	企業の森林づくり活動協定による森林整備
2~5	第28回えひめの森林・林業写真コンクール	18	森林適正管理事業のあらまし
6~7	「緑の募金」の使い道	19	森林適正管理支援事業のあらまし(新たな森林管理システム)
8~13	緑化キャンペーンコンクールの実施	20~23	賛助会員のご紹介
14~16	緑の募金協力企業一覧	25	SDGs

理事長あいさつ

公益財団法人愛媛の森林基金は、緑輝く豊かな郷土づくりを目指して、県民の皆様をはじめ、県、市町、団体、企業等、各界各層の方々からの温かいご理解と格別のご支援をいただき、昭和61年に設立されました。

これまで、緑化思想の普及啓発、森林の整備、緑化の推進など、森林の公益的機能の拡充強化に資するさまざまな活動に取り組んで参りました。また、近年では、当基金の森林整備などの取組みがSDGsの目標達成や、地球温暖化防止へ大きく貢献することから、更に、皆様からの期待に応えられるように事業を展開したいと考えております。

森林は、私たちの生活に欠かすことのできない水を供給したり、山地災害を防止するなど、さまざまな恵みをもたらしておりますが、こうした機能も、森林が健全な状態にあつてこそ高度に発揮されるものです。

愛媛の森林基金では、県民共有の財産である森林を守り育て、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継いでいきたいと願っています。

そして、これを具体化するためには、県民の皆様に森林の現状に関する様々な情報をお伝えし、森林・林業が担っている役割の大切さや、森林・緑がもたらす限りない恩恵などに対する正しいご理解をいただくことが何よりも大切と考えております。

今後とも、この「愛媛の森林」を通じまして、皆様に森林及び緑化に関する情報を広く発信して参りますので、森林を守り緑を育てる活動に引き続き温かいご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

公益財団法人愛媛の森林基金
理事長 末永 洋一
(愛媛県農林水産部長)



愛媛の森林基金事業のあらまし

森林の有する意義、山の重要性の認識を深め、森林を私たちの共有財産として大切に守り、次の世代を継承していくことを目的に、みなさまからいただいた出捐金の運用益を主な財源として、さまざまな事業を行っています。

1 森林及び緑化に関する啓発

「えひめ山の日」の集い

平成16年11月に制定された「えひめ山の日」を普及啓発することで、県民総参加の森林づくり活動を広くアピールするため、愛媛県との共催によりエミフル松前とえひめ森林公園の2会場で「えひめ山の日」の集いを開催しました。



上棟ワークショップ



木製ペン立てづくり



森林散策



式典

木に親しむための活動事業

大人も子供も楽しい、「木」で遊ぶイベントを開催しました。



2 森林の利用・活用の促進

木工作品制作キット配布事業

木材の利活用を促進するため、次代を担う小中学生を対象に、県産材を使用した木工作品製作キットを配布しました。総合学習の時間やクラブ活動、地域交流活動等で活用されました。



愛媛の森林基金助成事業(癒しの森整備事業)

歴史の里 いやしの路に助成を行い、久万高原町中津地区にある遊歩道の整備や常夜灯周辺整備を行いました。

3 森林の造成整備の促進

森林・山村多面的機能発揮対策

森林が有する多面的機能を高度に発揮する、多様な森林の造成整備を促進するため、山村等の活性化を目指した里山林の保安全管理活動を支援しました。

また、この活動に取り組む組織に対し、円滑に事業が推進できるよう必要経費の助成を行いました。



花粉症発生源対策推進事業

花粉症対策のため、スギ、ヒノキの人工林を花粉症対策苗木等へ植え替える活動を支援しました。